



ロボカップジャパンオープン2013東京

— ご協賛のお願い —



開催期間 2013年**5月4日**(土・祝) ~ **6日**(月・祝)

会場 **玉川大学・玉川学園キャンパス**
(東京都町田市玉川学園 6-1-1)

<http://www.tamagawa.ac.jp/robocup2013/>

ロボカップジャパンオープン 2013 東京開催委員会
(学校法人玉川学園、特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会 共同開催)

ロボカップジャパンオープン 2013 東京 開催概要

「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」は主催者の拠出金と、大会の趣旨にご賛同いただける企業、団体からの協賛金で運営しております。

1.開催期間	2013年5月4日(土・祝)～6日(月・祝)
2.会場	玉川大学・玉川学園キャンパス(東京都町田市玉川学園6-1-1)
3.主催	ロボカップジャパンオープン2013東京開催委員会 (学校法人玉川学園、特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会 共同開催)
4.共催	公益社団法人 計測自動制御学会システムインテグレーション部門 社団法人 人工知能学会 一般社団法人 日本ロボット学会
5.後援 (申請中)	外務省、文部科学省、経済産業省、町田市、神奈川県教育委員会、 横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会、 一般社団法人日本ロボット工業会
6.参加チーム数 (予測)	シニア:70チーム(約450人) ジュニア*:180チーム(約380人)*7月1日現在19歳以下
7.来場者数 (予測)	延べ8,000～10,000人(3日間)
8.入場料	無料
9.公式ホームページ	http://www.tamagawa.ac.jp/robocup2013/

主な協賛企業(過去3年)

関西電力株式会社、大和ハウス工業株式会社、西日本電信電話株式会社、尼崎信用金庫、
西日本旅客鉄道株式会社、株式会社NCネットワーク、ヴイストーン株式会社、株式会社ヤマシタワークス、
ニッコー株式会社、関西熱化学株式会社、東亜通信工材株式会社、日本電子材料株式会社、
大阪富士工業株式会社、株式会社ナカムラ、株式会社フジ・データ・システム、
都ホテルニューアルカイツク、音羽電機工業株式会社、ホテル「ホップイン」アミング、大阪電気通信大学、
園田学園中学校・高等学校、国立大学法人 福井大学、国立大学法人 九州工業大学、福井工業大学、
玉川大学

ロボカップジャパンオープン 2013 東京 競技種目・特別企画

<p>1. 競技種目</p> <p>*詳細はホームページをご覧ください。</p>	<p>ロボカップサッカー ヒューマノイドリーグ、標準プラットフォームリーグ、中型ロボットリーグ、小型ロボットリーグ、サッカーシミュレーションリーグ</p> <p>ロボカップレスキュー レスキュー実機リーグ、レスキューシミュレーションリーグ</p> <p>ロボカップ@ホーム</p> <p>ロボカップジュニア サッカーチャレンジ、レスキューチャレンジ、ダンスチャレンジ</p>
<p>2. イベント</p>	<p>サッカーロボット体験教室(時間・会場未定) 5月4日(土)午後1回 5日(日)全2回 6日(月)午前1回 対象:小学校3年生～中学2年生 定員:30名/1回 受講料:2,000円/1回 講師:北原 達正 氏 (ロボカップジュニア運営委員、京都大学講師、子どもの理科離れをなくす会代表)</p>
<p>3. 特別講演</p>	<p>「大規模災害に挑む –ロボティクスの挑戦– 5月4日(土) 時間・会場未定 講演者:田所 諭 氏(東北大学大学院 情報科学研究科 教授) 東日本大震災で福島第一原子力発電所・原子炉建屋内に投入された災害対応ロボット「Quince」*の開発者の1人であり、原発でのミッションに関わった田所教授に、日本のレスキューロボットの課題と未来についてご講演いただきます。</p>
<p>4. 特別展示</p>	<p>災害対応ロボット「Quince」実機展示 5月4日(土)～6日(月) 10:00～18:00 *6日は17:00まで 会場未定 福島第一原子力発電所・原子炉建屋内において、放射能線量測定等で活用された「Quince」*の同型を展示します。</p> <div data-bbox="392 1565 655 1765" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="679 1570 940 1767" data-label="Image"> </div> <p>東北大学より出展(写真:「特別講演」講演者 田所教授より提供)</p> <p>映像・ポスター展示 本大会参加ロボットや開発メンバーが東日本大震災等の被災地で救助・復興支援活動を行った様子を映像やポスターで紹介します。</p>

*「Quince」 千葉工業大学、東北大学、国際レスキューシステム研究機構を中心とするグループで開発

ロボカップの歴史

1992年	RoboCup 発足	
1997年	第1回世界大会(日本・名古屋)	
1998年	第1回ジャパンオープン(東京・青山)	第2回世界大会(フランス・パリ)
1999年	第2回ジャパンオープン(愛知・名古屋)	第3回世界大会(スウェーデン・ストックホルム)
2000年	第3回ジャパンオープン(北海道・函館)	第4回世界大会(オーストラリア・メルボルン)
2001年	第4回ジャパンオープン(福岡)	第5回世界大会(米国・シアトル)
2002年	第6回世界大会(日本・福岡、韓国・釜山)	
2003年	第5回ジャパンオープン(新潟)	第7回世界大会(イタリア・パドヴァ)
2004年	第6回ジャパンオープン(大阪)	第8回世界大会(ポルトガル・リスボン)
2005年	第9回世界大会(日本・大阪)	
2006年	第7回ジャパンオープン(北九州)	第10回世界大会(ドイツ・ブレーメン)
2007年	第8回ジャパンオープン(大阪)	第11回世界大会(米国・アトランタ)
2008年	第9回ジャパンオープン(沼津)	第12回世界大会(中国・蘇州)
2009年	第10回ジャパンオープン(大阪)	第13回世界大会(オーストリア・グラーツ)
2010年	第11回ジャパンオープン(大阪)	第14回世界大会(シンガポール)
2011年	第12回ジャパンオープン(大阪)	第15回世界大会(トルコ・イスタンブール)
2012年	第13回ジャパンオープン(大阪)	第16回世界大会(メキシコ・メキシコシティ)
2013年	第14回ジャパンオープン(東京)	第17回世界大会(6月 オランダ・アイントホーフェン)

ロボカップジャパンオープン 来場者実績(過去3年)

開催年	大会名/会場	開催日	参加チーム数	来場者数*1
2010	「ロボカップジャパンオープン 2010 大阪」 大阪工業大学	5/2(日)-4(火)	227 チーム 778 名 ＜海外チーム＞*3 中国 4 チーム(ジュニア)15 名、 イラン 1 チーム(シニア)6 名 タイ 1 チーム(シニア)9 名 スペイン 1 チーム(ジュニア)1 名 ブラジル 1 チーム(シニア招待)1 名	12,211 名
2011	「ロボカップジャパンオープン 2011 大阪」 インテックス大阪	5/3(火)-5(木)	234 チーム 846 名 ＜海外チーム＞*3 タイ 1 チーム 16 名 台湾 2 チーム 13 名	25,410 名
2012 *2	「ロボカップジャパンオープン 2012 大阪」 大阪工業大学(シニア)	5/3(木)-5(土)	73 チーム 456 名 ＜海外チーム＞*3 タイ 4 チーム 28 名 台湾 4 チーム 23 名	3,676 名
	ベイコム総合体育館(ジュニア)	3/30(金)-31(土)	184 チーム 492 名 ＜海外チーム＞*3 韓国 2 チーム 5 名	約 2,500 名

*1 3日間の延べ数。参加者・保護者含む。

*2 2012年はシニア、ジュニア別開催。

*3 海外チーム数、人数は内数。

ロボカップジャパンオープン 2013 東京 オフィシャルスポンサーシップ

	協賛			出展を希望する教育機関*
	プラチナ スポンサー Platinum	ゴールド スポンサー Gold	シルバー スポンサー Silver	
	1口 50万円 (先着20社)	20万円 (先着30社)	10万円	10万円
I 大会前				
1.読売新聞広告への企業名掲載 4月中旬 東京本社版(全15段モノクロ) *レイアウト案は p.7 参照	○ 広告スペースの提供	○ 企業名・ロゴを掲載	×	×
2.印刷物等への企業名掲載 主催者が製作する各種印刷物等への協賛企業名あるいはロゴマークを掲載 ポスター、チラシ、プレスリリース資料	○	○	○	○
3.公式 HP での企業名表示・リンク 主催者が製作する「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」の HP に企業名あるいはロゴマークを掲載、企業 HP へのリンク 「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」公式 HP URL: http://www.tamagawa.ac.jp/robocup2013/	○	○	○	○
4.スポンサー企業による公式呼称権 「○○社は『ロボカップジャパンオープン 2013 東京』のオフィシャルスポンサーです」あるいは 「○○社は『ロボカップジャパンオープン 2013 東京』を公式に応援しています」 という表現を企業広告に使用することが可能	○	○	○	×
5 大会公式ロゴマーク、キャラクター使用权 「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」のロゴマーク、キャラクターを企業広告に使用することが可能	○	○	○	×
II 大会期間中				
1.会場に企業名・団体名を表示	○	○	○	○
2.大会プログラムへの表示 主催者が製作する大会プログラムに企業名・団体名あるいはロゴマークを掲載(印刷予定部数 10,000 部)	○	○	○	○
3.出展小間への広告掲出 (A2 サイズポスター2 枚掲出、机上に A4 パンフレット 4 列設置可)	×	×	×	○

*ロボカップジャパンオープン出場選手の進路として、大学・高等専門学校のみを対象とします。

今後のスケジュール

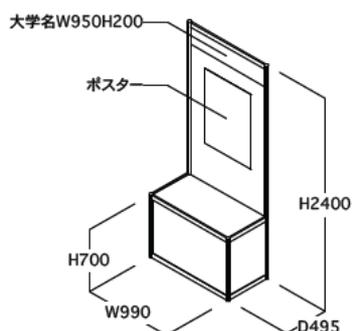
	協賛			出展を希望する教育機関*
	プラチナ スポンサー Platinum	ゴールド スポンサー Gold	シルバー スポンサー Silver	
	50万円 (先着 20社)	20万円 (先着 30社)	10万円	10万円
協賛申込書 締め切り	3月25日(月)			3月25日(月)
協賛金 入金 締め切り	4月3日(水)			4月3日(水)
読売新聞 広告スペース原稿データ 提出 締め切り	4月1日(月)	—	—	—
読売新聞掲載用 企業名・ロゴ データ提出 締め切り	—	4月1日(月)	—	—
ポスター、チラシ、大会プログラム、 HP用 企業名、ロゴ データ提出 締め切り	4月1日(月)			4月1日(月)
協賛企業様への ロゴマーク、キャラクターデータ提供	協賛金ご入金確認後 随時			—

お申込み方法・お問い合わせ先

別紙「協賛・出展申込書」にご記入の上、E-mail、FAX いずれかの方法でお送りください。

「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」開催委員会 事務局
 学校法人玉川学園・玉川大学 教育企画部教育企画課(根本・大野)
 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
 TEL 042-739-8899
 FAX 042-739-8865
 Email rcjtokyo2013@tamagawa.ac.jp

出展小間イメージ(教育機関用)



ロボカップジャパンオープン2013東京
開催告知広告(モノクロ)

私達はロボカップジャパンオープン2013東京を応援しています

プラチナスポンサー
企業・団体広告スペース(モノクロ)
20社

1枠 最小
7Cm×4Cm
(予定)

●●株式会社 ●●社 ▲▲株式会社 ■■会社 ●●社 ●●株式会社 ▲▲会社 ■■株式会社 ●●社 ▲▲社
●●株式会社 ●●社 ▲▲株式会社 ■■会社 ●●社 ●●株式会社 ▲▲会社 ■■株式会社 ●●社 ▲▲社
●●株式会社 ●●社 ▲▲株式会社 ■■会社 ●●社 ●●株式会社 ▲▲会社 ■■株式会社 ●●社 ▲▲社

ゴールドスポンサー 企業・団体名、ロゴ表示スペース(モノクロ) 30社

「ロボカップジャパンオープン 2013 東京」開催委員会 事務局

学校法人玉川学園 教育企画部教育企画課

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

TEL 042-739-8899 / FAX 042-739-8865

Email rcjtokyo2013@tamagawa.ac.jp